

# 自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

健康第 号  
 令和 4年 3.30  
 健康福祉局総務課  
 収受

事業所名：ニチイケアセンター中村公園

作成者：佐々木芳江

作成日：2022年2月14日

運営推進会議における評価実施日：2022年3月18日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進 会議 における 外部評価	記述
<b>I 理念・安心と安全に基づく運営</b>						
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	C	ホーム独自の理念を踏まえ日々支援へ繋げているが、直接的に地域の方々と利用者の触れ合いは出来ていない		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	B	コロナ禍ではあるが近隣の方とはソーシャルメディアスタンスを保ちながら散歩に出かけ外出する喜びを持っていただいている		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見がサービス向上に活かしている	C	コロナ禍のため対面で実施できていないが書面で報告している。写真付きのほほえみ通信などでも報告し、都度ご家族と電話などでご意見を伺うように努めている		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	B	介護保険に関する事、助成金の手続き等、ご家族に協力できることは積極的に二段取りを組むように努めている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄關の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A	毎月の会議をはじめ常に意識するよう話し合いをしている	A	「不明」「[「していただいている」と思う]「家族の身解では身体拘束に感じた事は無い」「身体拘束はされていない」
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	A	本人の意思を尊重するケアに取り組んでいる	A	「不明」「[「していただいている」と思う]「虐待等されとは思われない」「本人が嫌がることは無理しない」
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	B	成年後見制度を利用されている利用者様があり、事例として話し合いをすることもある		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	B	入居時の重要事項説明時には時間をかけて読み合わせをし、ご理解いただくと共に、ご質問をいただくようにも努めている		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B	入居時や都度、ご意見、要望を伺い、一つひとつ確認していくことで、利用者や家族の安心へとつなげるように努めている	A	「不明」「相談しかくにんして反映されている」「以前はよくお話をしていた」「意見を聞かれたことがありません」「家族の事情もよく理解されて要望を受け入れられている」「意見や要望をよく聞いてくださっているので安心している」
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B	管理者は毎月のホーム内会議や日常的に意見を聞くように努め、提案をしやすい環境に努めている。面談も年に2回実施している。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B	三六協定を元に、労働環境を整えている。	B	「不明」
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B	一人ひとりの能力や性質に合わせ、的確なアドバイスをしている。社内ではキャリアアップ制度があり、士気を高めている。	B	「不明」
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	C	同社の他拠点との交換実習制度があり、相互で学ぶ機会がある。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	B	パーソナルケアを念頭に置き、「何を必要とし、何を求めているのか」を考え、気のある方同士を隣席にご案内したりし、よりよい環境づくりに努めている。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	B	ご家族に生活歴などをお聞きし、その環境を日ごろの会話につなげている。馴染みの方と取次ぎをすることもある。		

# 自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名：ニチイケアセンター中村公園

作成者：佐々木芳江

作成日：2022年2月14日

運営推進会議における評価実施日：2022年3月18日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会議 における 外部評価	記述
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	B	ご本人の意思を尊重したケアに努めている。一人一人の習慣や嗜好の把握に努めている。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	B	習慣や嗜好に合わせた計画書を作成するよう努めている。	B	「不明」最近のことはよく分からない「本人にある計画書を作成している」「本人の要望も良く考えられている」「本人に合わせた介護計画がされている」
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	B	日々の申し送りや記録、スタッフ間で共有する情報をもとに見直している。	A	「不明」
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	B	ご本人やご家族の状況に合わせてニチイライフ等できる限り柔軟に支援している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	B	出来るだけ散歩の機会を大切にしながら直接的ではなくても「地域にいる」実感を持っていただけるよう努めている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	B	日々体調の変化に気を配り、早期に医療に繋げるよう努めている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場面に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	B	入院時介護サマリーを作成しご本人が少しでもより良い治療を受けていただければ状況を報告している。	A	「不明」入院時、よくしていただいた。「まだその様な経験が無いが、その様に病院と連携してもらえると助かる」
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人、家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	B	日ごろから、体調、身体等の変化をご家族に伝えている。重度化した場合は終末期の意向を確認し、病院や施設など、先の支援がスムーズにできるよう努めている。	B	「不明」終末期のことはまだ考えていない「病気になる時とか、終末期についてはいいさ聞いてません」「まだ その様な経験がないが、その様に病院と連携してもらえると助かる」「体調とかは日ごろから伝えてもらっている」
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	B	定期的に救命救急・応急手当の対応の研修をしている。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	B	年に2回防災訓練を実施し、夜間を想定した訓練もおこなっている。中村消防署、消防士にて図上訓練も行った。	B	「不明」「いいさ聞いていません。おまかせ状態です」「防災訓練をすると報告されている」

# 自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名：ニチイケアセンター中村公園

作成者：佐々木芳江

作成日：2022年2月14日

運営推進会議における評価実施日：2022年3月18日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進 会議 における 外部評価	記述
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B	一人ひとりの思いを大切にするという気持ちを含頭におき、声掛けの仕方、介助等、その方を敬う思いで対応している。また、わかりやすい声掛けにも努め、禁忌語にも注意して対応している。	A	「不明」について下さると感じ、お預けしています」「やっていたらいいと思う」「一人ひとりに対し声掛けを対応している」「介護の状態は自分できなないが、本人の状態はとも良い」「本人に寄り添い声掛けされている」
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日までのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日までのように過ごしたいか、希望にそって支援している		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A	季節の食材や好みものを取り入れたり、行事食を作ったり、工夫して食事を楽しみたいようにできるように片付けもサポートしている。食器拭き等の片付けもサポートしている。	A	「不明」本人のできる範囲でやっているのかしらない」「行事食等はほぼおみまの写真を撮っている」「行事食があるときも、おやつの際も声掛けをしている」「毎回本人が完食している様なので、満足していると思う」「好きな食べ物がたくさんあると思うが、ちゃんと食べているように、片付けもやっているように」
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	B	一人ひとりの状態に合わせて支援に努めている。おやつでも栄養や水分のカバーをしている。嚥下状態等の低下により、食事が困難になったり、食事は刻み食やミキサー食の対応もしている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B	毎食後、口腔ケアを実施している。残存機能に合わせて、必要な介助をしている。また、虫歯や歯肉の調整等、必要な方は訪問歯科診療を受けていた。歯磨きなどの助言を受けている。	B	「不明」やっていたらいいと思う」「一人ひとりに合った口腔ケアができていないと思う」「家族が気づいていないから改善されている」「口腔ケアをしっかりとされている」
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B	トイレで排泄する事を継続できるようにパターンや習慣を把握し、個々にあった支援の模索を続けている	B	「不明」いろいろ声掛けしていただいていると思う」「特にお話があるからお願いしています」「徐々にあった排泄に慣れていくように思っています」
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合や曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	C	その日の体調を考慮して入浴していただいている。時間帯は午後と決まっているが、その日、その時の気分により、強制は避け、時間を置いたり、日を改めていたりしている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	B	体調や睡眠不足による不眠など、一人ひとりのその時の状態に応じて休息していただいている。昼夜逆転にならないように最新の配慮を心がけているが、寝つきが難しい方には特に必要に応じて、寄り添った支援を大切にしている		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A	服薬ファイルに薬の情報や鎮痛薬の副作用確認できるようにしている。勉強会もしている。体調変化は医師に相談し、指示をもらっている	B	「不明」現在、何を服用しているのか、知らない」「病院と連携していると感じる」
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B	一人ひとりの生活歴や嗜好品の把握に努め、理解し、喪失感を軽減しながら残存機能を生かし、役割を感じながら心地よい時間を過ごしていただくように努めている。気分転換に散歩に行く。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりの希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域のみなさんと協力しながら出かけるように支援している	B	コロナ禍でありご家族との接触は控えているが、日々の散歩に出かけられるよう努めている		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持したり使えらるよう支援している	D	可能な方にはお預かりしているお小遣いを渡して買い物の際に支払いをしていただいているが、現在はコロナ禍であり買い物控えている(施設の金庫で管理している)		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	C	希望にて居室内で電話を使用されている方がいる。ご家族からの電話を取り次ぎお話ししていただくことで心の安定を図っている		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快感や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B	リビングでの席は自由であるが、気のあった利用者同士で清居できるように努めている。お一人でおやつや飲み物など、ソファ席もある。皆様に作成した、書初めや季節飾り物をリビングにかざり、居心地よい環境へと努めている。	B	「不明」配慮していただいていると思う」「この点はよくやっていると感謝しています」「リビングは季節飾りがあり、個々の作品もあり、工夫されている」「以前、訪問した際には清潔感があってと思う」「人見知りのほろほろだが、共同生活してきて不快なことはないようです」

